

第 89 回

1 年目と 2 年目の 違い



皆さん、こんにちは。J2 の K.S です。今回は私が感じた監査法人 1 年目と 2 年目の違いについて、お話しします。

まず 1 年目は 10 日間ほどの新人研修を受けた後、現場で OJT として仕事のやり方を学んでいくことになります。最初は右も左もわからない状態ですが、優しい先輩方が現場に同行してくださるので、困ったことがあれば、すぐに質問や相談ができます。

最初のころは現預金・借入金などのリスクの低い科目を担当し、監査調書を作成していくことになります。

また、1 年目でもクライアントの方とお話しする機会がありますが、わからないことがあればまずは先輩方に聞くことになると思います。

監査法人 2 年目では徐々にリスクの高い科目を担当していくことになり、さらに監査計画にも関わる機会が増え、仕事のやりがいが増すと思います。

また、1 年目と比較して、クライアントの方と話す



機会も格段に増え、会計処理の論点についても相談を受ける機会が出てきます。そして、新人の方と同じチームで一緒にすると、

指導する機会があります。新人の教育はもちろん難しいですが、頼ってくれると嬉しいですし、これまでの経験で学んだ知識の整理にも役立ちます。つまりまとめると、1 年目は OJT で仕事を覚える期間であり、2 年目は 1 年目の経験を活かしながら大きく成長する期間だと思います。